

新型コロナウイルス感染症対策を取り入れた もしものときの避難に備えましょう

CHECK 1 ハザードマップでご自宅の安全を確認

- 自宅が**浸水**や**土砂災害**のおそれがあるエリアに含まれていないかハザードマップで確認しましょう。
- ハザードマップに図示されている場合は危険があります。災害の種類によっては、安全が確保できる場所への避難を検討しましょう。
- ハザードマップは市のホームページのほか、危機管理課でも確認できます。



CHECK 2 避難所以外への避難（分散避難）も検討をお願いします

- 感染症防止のため3つの密（密閉・密集・密接）を避けることが重要です。
- **安全性が確保されている自宅や、親戚・知人宅での避難も検討しましょう。**



CHECK 3 避難所で使う感染症予防用品を準備しましょう

- 非常持ち出し品の例：携帯電話、モバイルバッテリー、懐中電灯、薬、生活用品、非常食、身分証明書、お金、通帳・印鑑など
- 避難に必要な物品に加えて、マスク、除菌シート、体温計などを用意し、感染を予防しましょう。
- ご自宅で避難される場合は、備蓄物資の確認をしておきましょう。



CHECK 4 緊急告知ラジオ、緊急情報メール、Yahoo!防災速報アプリから正しい情報が受け取れるように準備しましょう

- 避難勧告などの避難情報の発令など、状況の急変に合わせてすぐに行動できるよう、情報受信端末を整備しましょう。
- 下記のQRコードから、お持ちの携帯・スマートフォンにダウンロードできます。

○緊急情報メール
登録用QRコード



○Yahoo!防災速報アプリ
登録用QRコード



○緊急告知ラジオの
動作確認をしましょう。



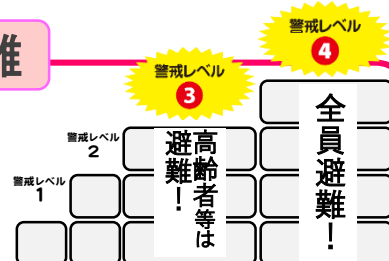
CHECK 5 気象情報に注意しましょう

- 台風の予想進路が暴風域に入りそうな時や、大雨が降りそうな時は、テレビの気象情報などを念入りにチェックしましょう。
- 雨が強くなってからの避難は危険です。状況を予測し、早めの避難を心がけましょう。



CHECK 6 警戒レベル4で危険な場所から全員避難

- 警戒レベル3が出たら、高齢者など避難に支援が必要な方は、避難を始めましょう。
- **警戒レベル4が出たら、危険区域内の方は急いで避難を始めましょう。**



新型コロナウイルス感染症対策をして安全に避難しましょう

避難所での感染症対策のポイント

感染症防止を図りながら、避難をする際のポイントをまとめました

Point 1 避難所に入る前に受付をしましょう

- 避難所に入るときに検温を受け、体調が悪い場合は申し出ましょう。
- 避難者名簿に、氏名や連絡先を記入しましょう。
- アレルギーや疾患などの特別な事情がある場合は申し出ましょう。



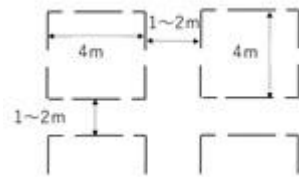
Point 2 感染症対策を徹底しましょう

- マスクを着用しましょう。
- 手洗い、うがいの徹底、こまめな換気に努めましょう。
- 日頃から、体温測定など体調管理に努めましょう。



Point 3 家族でまとまって行動をしましょう

- 1家族が1区画（4 m×4 m程度を目安）使用し、家族間の距離を1～2 mあけましょう。
- 高齢者・基礎疾患のある人・障がい者・妊産婦は、感染リスクが高いため、可能な限り専用のスペースがとれるよう協力をお願いします。
- 熱がある方などは別室にするか間隔を広くあけます。



1区画の広さは人数に応じて調整します

Point 4 自主防災組織(町内会)に避難先を連絡しましょう

- 離れた避難所に避難した場合、地元の自主防災組織や町内の役員さんなどに行き先を連絡しておくこと安否確認などがスムーズになります。



Point 5 共用となる部分での感染を減らしましょう

- ドアノブや電気のスイッチなど、複数の人が触れる場所を触る場合、触る前後の手指消毒を心がけましょう。
- トイレ後の手洗いなどでは、ご自身のタオルかペーパータオルを利用するようにしましょう。
- 手や口が触れるものはこまめに洗浄・消毒するなど特に気をつけましょう。



小千谷市危機管理課
(電話 0258-83-3515)